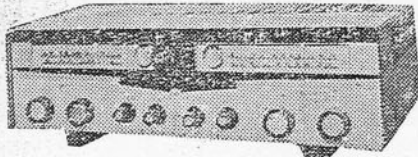


国内新製品紹介

パイオニアの新製品 5 種

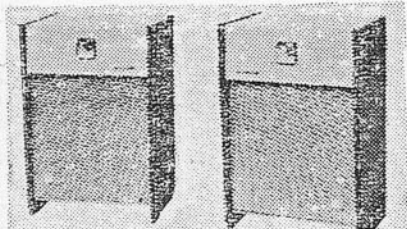
④ステレオ・マスター “SM-Q140”

本機は FM チューナーと 2 つの AM チューナー(AM 部は 535~1605 kc と 3.8~12 Mc の 2 バンド)のついたステレオアンプで、AM-AM および AM-FM の立体放送を楽しむことができる。このアンプの出力回路はモノ再生のときは完全なプッシュプル回路として動作し、ステレオ再生のときはシングル 2 台となるような新しい回路が採用されている。使用真空管は 14 球で、それに 4 個のゲルダイが使われている。出力は最大 6W×2 (モノ 15W)、無電 5W×2 (モノ 12W) で、消費電力は 95W である。周波数帯域は 20~30,000 c/s、SN 比はモノ 70 dB 以上、ステレオ 66 dB 以上、クロストーク -52 dB、トーンコントロール CR 型 (両チャンネル連動、低域 50 c/s で ±12 dB、高域 10,000 c/s で +8、-14 dB)、入力端子 PHONO 1, 2、マルチプレックス・アダプター端子はスピーカー・システム 1 台のときは切換スイッチつき、16~8~E。外形寸法は幅 470×高さ 147×奥行 278(mm)、重量 12.2 kg である。定価は ¥31,800。



⑤スピーカー・システム “CS-202S”

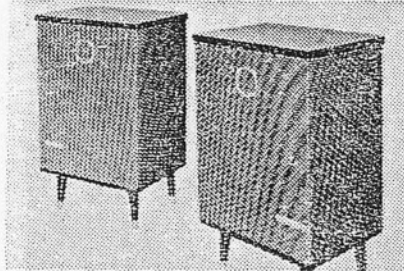
ステレオ用の 2 ウエイ SP システムである。スピーカーはウーファとして 18 cm 型 PW-18A、トゥイーターにはホーン型 PT-4 が使用され、インピーダンスは 16 Ω、再生周波数帯域は 60~16,000 c/s、最大許容入力 8 W、出力音圧レベル 100 dB/W、キャビネットはバスレフ型である。その寸法は高さ 710×幅 470×奥行 350(mm) で、容積は 78,000 cm³、重量は 18.3 kg である。正価は ¥14,200×2 である。



⑥スピーカー・システム “CS-160S”

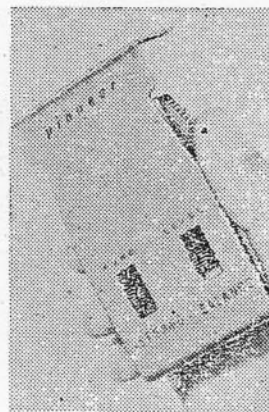
これは 3 スピーカー・システムとなっている。使用スピーカーは低音用 16 cm 型 “PW-16A”、中音用 12 cm 型、高音用 8 cm 型と、それぞれ専用スピーカーを使い、周波数帯域 80~13000 c/s となっている。インピーダンスは 8 Ω。最大許容入力は 3 W、出力音圧レベル

96 dB/W、寸法は 高さ 650×幅 400×奥行 300 (mm)、容積は 26,400 cm³、重量 12 kg である。正価は 2 本組で ¥15,800



⑦リモート・ステレオ・バランス “BR-1”

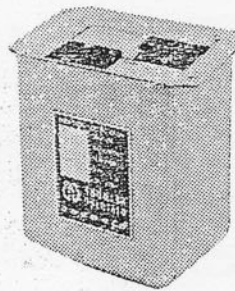
ステレオ再生に重要な左右チャンネルの再生音のバランスをリモート・コントロールにより調整できるもので、今まですでに同社のアンプオーディオ・マスター AM-R81, R88, FM-R301, P300 などを持っている人は、特にステレオ・アンプを買う必要もなく、もう一台のオーディオマスター



を買えば、このバランスをオーディオマスター独特の機構である、プリとメインを分離する外部端子に接続すれば簡単にステレオ・アンプとすることができる。

⑧2 ウエイ用ネットワーク “DN-4”

大出力で低い再生周波数をもつトゥイーターなどが出てきたため、従来クロスオーバーは大体 2,000 c/s だったが、近頃では 1,200 c/s ぐらいまで下げる必要が出てきた。この要求に応じて作られたもので、形式としては定抵抗並列型 2 ウエイで、減衰量 12 dB、クロスオーバー周波数 1,200 c/s、3,000 c/s (スライドスイッチ切換)、インピーダンス 16 Ω、外形寸法 125×125



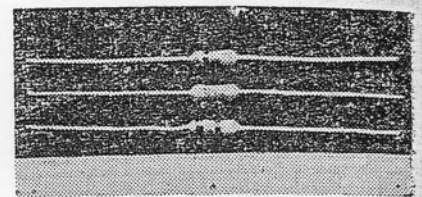
×82(mm)、重量 1.15 kg である。正価は ¥2650。

(東京都文京区音羽町 6 の 5)

福音電機 K. K.

JCR の超小型抵抗器

JCR (日本セラミック・レジスター) ではテレビ用、トランジスター・ラジオ用として超小型のセラミック抵抗を出している。写真のものは RD-1/4 PS 型は連続定格電力 1/4 W、尖頭電力 2 W に耐え、3~10 Ω (3, 33, 4, 4.7, 5, 56, 6.8, 8.2, 10) で、各々誤差 20% (M 級)、10% (K 級)、5% (J 級) の 3 種がある。

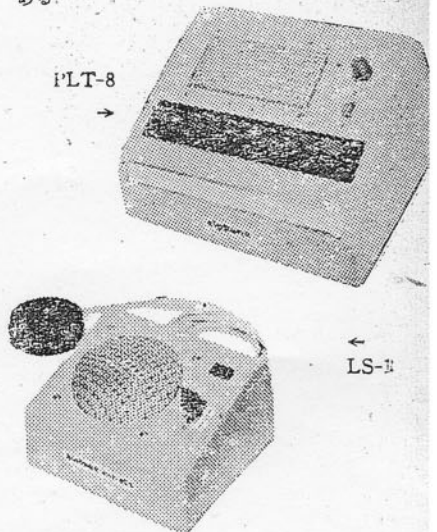


(京都市伏見区深草栄田屋敷町 65)

日本セラミック・レジスター K. K.

アイホンのインターホン “PLT-8”

プレストーク親子式インターホンで、1 台の親器に対して数台の子器をとりつけることができる。写真掲載の PLT-8 は子器 LS-1 が 8 局使えるもので、アンプ部は 4 個のトランジスターと 1 個のサーミスターを使っている。スピーカーは 9 cm 型である。配線は 3 線式でその中 1 本は共通線で、適当距離は約 500 m である。値段は PLT-4 (4 局用) が ¥11,200、PLT-8 (8 局) が ¥12,400、PLT-12 (12 局) が ¥14,700 で、子器 LS-1 が 1 台で ¥1,800 である。



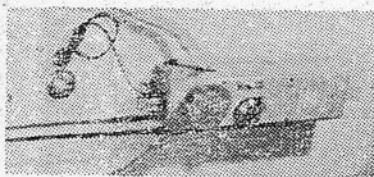
(名古屋市中村区西町通 2-2)

アイホン K. K.

エスミの新製品 2 種

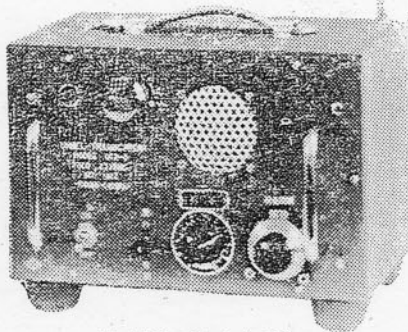
●トランシーバー “RA-3”

校正用水晶を内蔵したハンディ・トーカーである。使用真空管およびトランジスターは、送信機側が 3A5 と 1R5 の自動方式、受信側は ST-330 → ST-330 → OC72×2 の超再生検波方式で、周波数はコイルの取換えによって 28 Mc (RA-2 型), 50 Mc (RA-3 型), 144 Mc (RA-4 型) とすることができる。電波型式は A₃ で、出力は約 200~500 mW あり、通話距離は 1~3 km となっている。電源には A が 1.5 V, B が 90 V または 67.5 V, トランジスター用として 12 V を使っている。外形寸法は高さ 300 mm, 幅 80 mm, 奥行 80 mm でアンテナは全長 1.5 m のロッド・アンテナである。値段はキット一式 ¥11,800 (〒180), 完成品 ¥18,500 (〒200), ただし電池と水晶は別となっている。



●ラジオ・インターホン “UTR-4”

本機には同社の UT-3 型とほぼ同性能の送信機に簡単な受信機を組み込み、スピーカーはマイク兼用とし、キーの操作で手軽に送・受を切換えることができ、無線インターホンとして、家庭、事務所、実験連絡用に好適のものである。送信部は水晶制御方式で 12AT7 (発振・出力), 1/2 12AT7 (変調), 受信部は超再生検波方式で 1/2 12AT7-6BA6 (マイク増幅), 5MK9 (整流), 6E5M (送信表示) という内容である。外形寸法は幅 250×高さ 160×奥行 130 (mm) である。価格は完成品が ¥13,980 (〒200), 完全キットが ¥8,950 (〒180), 球, コイル, トランス, CR 等のないセミキットが ¥3,900 (〒180) である。

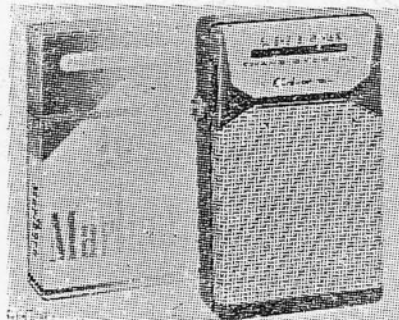


(東京都町田市金森 51)

K. K. 江角電波研究所

アイワの TR ラジオ “AR-665”

写真でごらんのようにタバコ・ケースと同じぐらいの大きさの横行ダイヤル式の 6 石ラジオである。受信周波数帯は 535~1605 kc, 感度は 64 dB (1.5 mV) 以上, 電気的出力は 70 mW, 歪率 10% 以下 (50 mW), スピーカーは 2" 型, アンテナはフェライト・アンテナ自蔵, 外形寸法は 90×56×25.5 (mm), 重量は電池ともて 180 gr. 電源は BL-006 P (9 V) である。



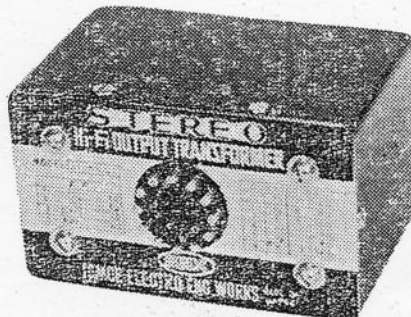
(東京都千代田区神田元佐久間町 4)

アイワ K. K.

REX のステレオ O. P. T

普通ステレオといえば出力トランスを 2 個使うのであるが、これは 2 個のトランスが 1 つのケース内に組込まれ、干渉も漏話もないようになっている。コアも冷間圧延オリエン・コアを木素アニール処置したものを使用し小型・軽量となっている。また、内鉄型コアの両足にわけて巻線したコイルは各々巻線方向が逆になっているので、リークage・フラックスは互いに打消し合うようになっている。規格および正価は下表のとおり

	一次	二次		
ST-10P	10 k pp	4-8-16Ω	15 W	¥2,160
ST-8P	8 k pp	" "	15 W	¥2,160
SO-7S	5 k pp	" "	7 W	¥1,600

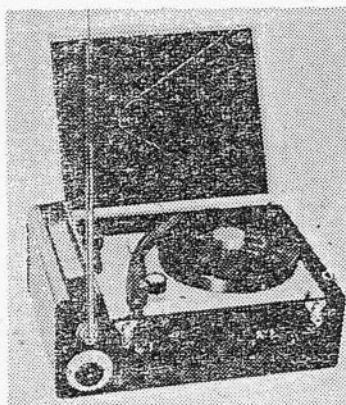


(山形県酒田市寺町 143)

巴電機製作所

クラウンのポータブル電蓄 TRP-20

オール・トランジスターで 2 バンド・チューナーのついた 3 スピード電蓄である。電気的出



力は 400 mW, スピーカーは 10.2×15.2 cm 型, PU はターンオーバー LP, SP 両用クリスタル型, 駆動はリムドライブ方式, アンテナは内蔵の 10φ×140 のフェライト・アンテナと取付用の 13 段ロッド・アンテナである。外形寸法は 135×241×338 mm で、重量は 4.5 kg. 電池は単一×6 (9 V) である。正価は ¥24,500

(東京都千代田区神田末広町 38)

旭無線電気 K. K.

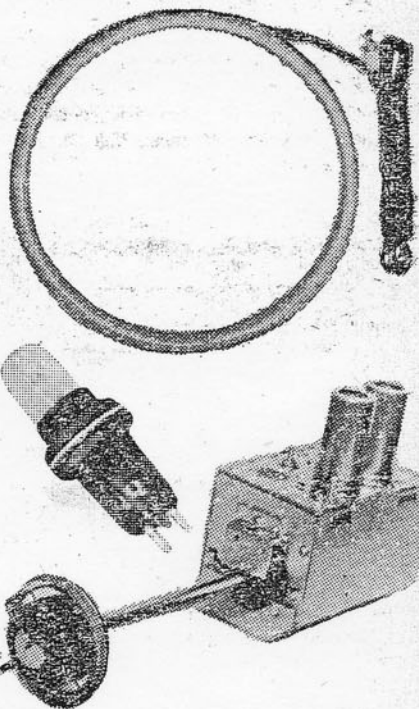
QQQ の新製品 3 種

●デガウス・コイル “CT407”

カラー受像機のラスターの調整に必要なもので、小型携帯用にできている。直径は約 35 cm で 2 m のコードつき、直流抵抗は約 12 Ω である。

●ネオン・ブラケット・ランプ

黒色メッキ仕上げによる優美なデザインの小形ネオン・ブラケット・ランプで、各種通信機、テレビ、ラジオ、配電盤などのパイロット・ランプとして好適。AC, DC 100 V で直接点火することができる。値段は ¥210。



●新型チューナー “TV-12H”

小型で高感度である。ミキサー管に五極管タイプと三極管タイプとがあり、またヒーター型式によって P 型 (6.3 V 球), と S 型 (トランスレス球) とがある。外部微調が可能で AFT 方式も考慮されている。値段は ¥3,900。

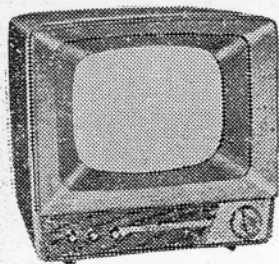
(東京都大田区大森 2 の 181)

中央無線 K. K.

テレビ商会の新製品 2 種

●テレオマスター TV キット 14G

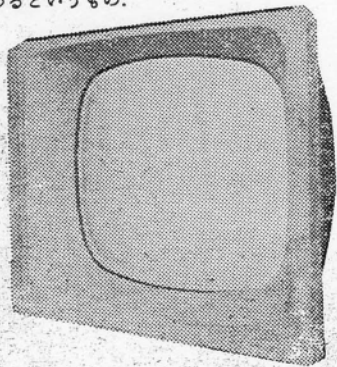
前面枠とパネルは美しいツートンカラーのオール・プラスチック製の 14 型である。前面ガ



ラスには特殊強化ガラスを用いている。仰角段は ¥27,500.

●ダストレス・マスク

写真のような 14 吋用のダストレス・マスクが発売され、同社のセット 14M, 14G 型に採用されている。本製品の使用によりブラウン管は完全にマスクに密着し、前面ガラスもこのマスクに落ち込みとなるので、ブラウン管面にゴミが附着することなく、いつも鮮明な画像を楽しめるというもの。

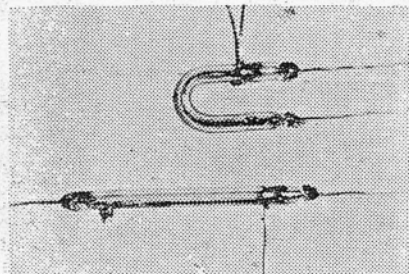


(東京都千代田区神田花房町 5) テレビ商会

ルックス閃光放電管 FT200

ルックス電子工業 K.K から、写真のような閃光放電管 FT200 が新発売された。光量は 12,000,000 ルーメン。色温度 6,500°C、しかも電圧は 200V 以下で発光するという驚異的なものである。寿命は 30,000 回以上使える。光の色は太陽光線とほとんど同じである。主な規格は下表の通り

名称	長さ	直径	使用電圧	尖頭光量	型状	定値
FT200	83	6φ	200~290V	12,000,000ルーメン	直線	1000
FT200R	41	6φ	"	"	U字型	1200



(東京都品川区南品川 6 の 1495) ルックス電子工業 K.K.

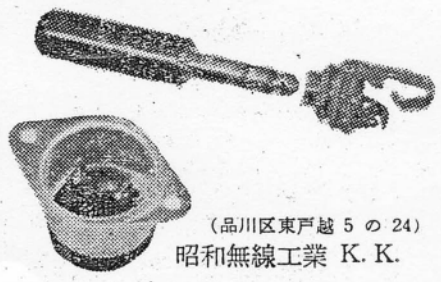
昭和無線工業の新製品 2 種

●アンプ用プラグ
厳選された高級資材を使用したアンプ用 AC

プラグで、耐久力に富み、接触抵抗も極めて少ない。アンプ、通信機器、測定器用に最適。

●同軸単頭プラグジャック

ハイファイ・アンプ、高級無線機器の同軸単頭プラグ・ジャックで、各種材料は十分吟味されており、接触は極めて快適である。



(品川区東戸越 5 の 24) 昭和無線工業 K.K.

ミヤマの新製品 3 種

●#55 小型 6P スナップ・スイッチ

小型で電流量が大きいという要求に基いて設計されたシーソー式スナップ・スイッチで、銀接点の使用により接触抵抗は極めて少なく長寿命である。レバーは止ピンで支持し、スプリング押上式による摩擦を最少限にしてあるから、故障は皆無に等しい。2 極双倒 6P 125 V-10A である。

●#325 カラー・プラグ・ジャック

抜き差しがスムーズにでき、プラグとジャックの色が同一の色で組合わされている。その色は赤・黒・青・黄・白・金属等があるから、同一機器に数種とりつけてもその操作を誤ることはない。

●#56 ボタン・スイッチ

押したとき ON、離せば OFF になる押ボタン・スイッチであるが、125 V-6A という大電流量があり、かつ取付けは 16mm 穴に差込むだけでスプリングにより完全に取付けられる。



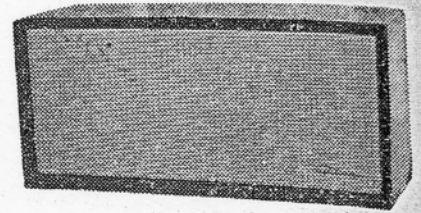
(東京都大田区池上町 56) ミヤマ電器 K.K.

エレガの SP システム "SPS-4, SPS-3"

テレガ・スピーカーの藤木電器から写真のような SP システムが発売された。SPS-4 は 20 cm ウーファと 16 cm ミドル・レンジ、5 cm トウィーターを組合わせた 3 ウエイ方式のもので、規格はキャビネット寸法が幅 610×高さ 280×奥行 270(mm)、再生周波数 40~16,000 c/s、クロスオーバー 800, 4,000 c/s、入力インピーダンス 16 Ω、感度 96 dB、定格入力 8 W、最大入力 20 W、プリリアンス・コントロール

11,000 c/s 12 dB, 5,000 c/s 8 dB となっている。

また同社には SPS-3 型は 20 cm ウーファと 5 cm トウィーターを組合わせ、ネットワークを内蔵した 2 ウエイ方式のものもある。これらは小容積のキャビでウーファの低域共振周波数に適合したバスレフ・タイプを採用して低音の増加をはかっている。

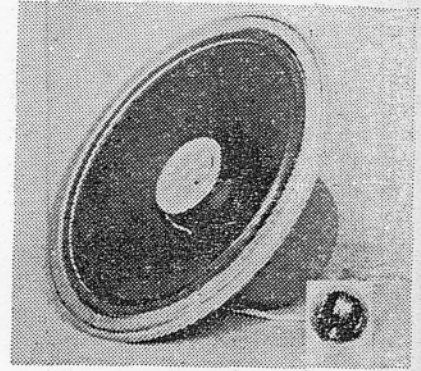


(東京都大田区池上町 98) 藤木電器 K.K.

日本電気音響の 31 cm コアキシャル SP

R31-CX (12" 型)

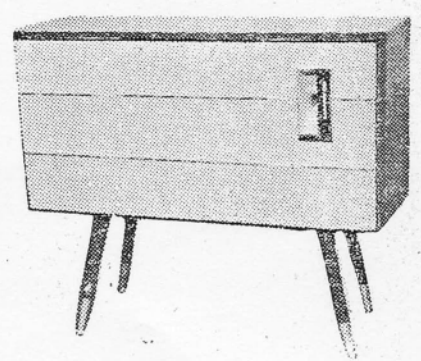
低音部 R31-C は性能を主として最も経済的に設計し、総磁束 12,500 マックスウェルの強力な磁場を少量のマグネットにより構成している。コーン紙は同社自家製のことで制動リングを採用している。高音部 R-7K は 200~16,000 c/s を再生するもので、ネットワークは自蔵となり、レベル・コントロール付である。最大許容入力 15 W, VC インピーダンス 16 Ω, 再生周波数 45~16,000 c/s, fo は 55 c/s. 外形寸法は直径 305 mm, 奥行 150 mm である。



(東京都中央区銀座西 6 の 1 三楽ビル内) 日本電気音響 K.K.

クライスラーの SP システム

"8H22, 8H22L"



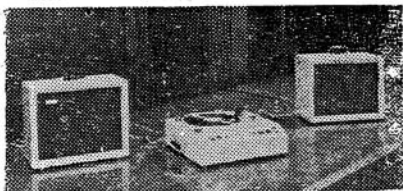


2 ウエイ方式のもので、トワイターはホーン型(ナショナル HT-33)で、ウーファは 20 cm 型(コーラル 8L-4)を使用している。主な規格を列記すると、VC インピーダンス 16 Ω、再生周波数帯 50~16000 c/s、最大許容入力 8 W、外形寸法は幅 800×高さ 400×奥行 320 で脚高 300 (mm) である。

(東京都千代田区神田仲町)
クライスラー電気 K. K.

東芝の移動型ステレオ電蓄

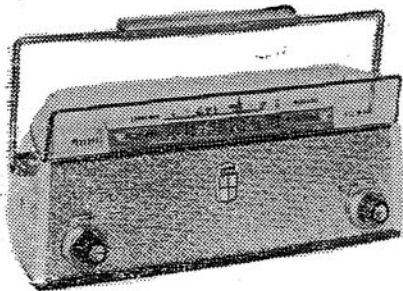
写真は移動型の高級ステレオ装置として売り出されたもので、ステレオ・プレーヤー TPS-40 (¥ 67,000)、ステレオ・プリアンプ TPA-41 (ダイナミック・マイク付で ¥ 35,000)、ステレオ SP システム(メイン・アンプ内蔵で ¥ 56,000 を組合わせたもので、200~300 人の講演会やコンサートに好適である。主な定格を列記すると、使用真空管はプリアンプ部が 12A X7×5、5MK9、ヒーター用セレン、メイン・アンプ部は 6AN8、6AR5×2、5R16 1 回路分は SP キャビネットに内蔵となっている。スピーカーは左右とも 20 cm 型オイルダンプ方式のもの 1 個。プレーヤーのモーターは 4 極インダクション・モーター、アルミ・ダイキャストのターンテーブル、4 スピード・マグネチック・ブレーキ付、PU は ST はクリスタル型、LP と SP はマグネチック型でともにダイヤ針がついている。出力は最大 6 W×2。外形寸法はプレーヤー部が幅 510×高さ 210×奥行 480(mm)、SP 部は幅 500×高さ 400×奥行 260(mm)、重量は前者がプリアンプを含めて 21 kg、後者はメインアンプを含めて 12 kg である。正価は合計で ¥ 158,000。



(千代田区有楽町朝日新聞ビル内)
東京芝浦電気・レコード営業部

サンヨーの TR ラジオ 7S-07

7 石の 2 バンドスーパーである。使用トランジスター(カッコ内は新名称)は、2S-60A (2SA60)、2S-49 (2SA46)、2S-53 (2SA53)、2S-54 (2SB54)×2、2S-56 (2SB56)×2 に 1N60×2、4M-8601 となっている。電気的出力は無歪 150 mW、最大 220 mW、スピーカーは 9 cm×14 cm 楕円型である。電池は単一×4 の 6 V、外形は 300×125×120 mm で、アンテナ・リ



ードとイヤホンが付属品としてついている。正価は ¥ 11,500。

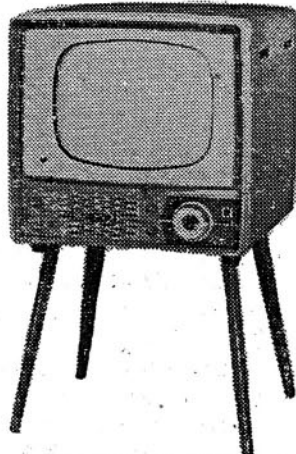
(大阪府守口市京阪本通 2 の 18)
三洋電機 K. K.

NEC の新製品 3 種

●14 型受像機 “14T-593”

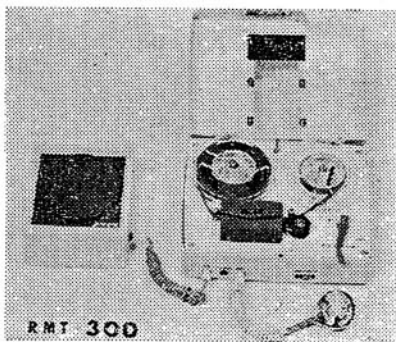
高 Gm 管 4R-HH2、5M-HH3 を採用して高感度を得ている。90° 偏向のメタルバック管を使っている。使用真空管は 4R-HH2、5M-HH3、6CG7、6CB6×3、3BZ6、5U8×2、6AW8-A、6CS7、12G-B3、12G-K17、4M-P12、1X2-B、SD-46×4、SD-60 である。

使用スピーカーは 10×15 cm パーマネント型、音声出力は無歪が 1.5 W 外形寸法は横 456×高さ 442×奥行 445 (mm) である。正価は ¥ 58,000



●ミニレコーダー “PMT-300”

超小型・軽量のトランジスター・テープ・レコーダーである。使用トランジスターは 3 石で、テープ速度は 9.5 および 4.75 cm/秒 の 2 速度をスリーブのはめかえで切換えることができる。直流バイアス、ダブルトラックである。電源には積層乾電池 BL-006P 1 個(アンプ用)と 2



個(モーター用)となっていて、連続使用で約 3 時間である。これに NEC スピーカー・ボックス(トランジスター 2 石内蔵)をつなげば 2 人以上で聞くことができる。またその代りに入力ジャックのついているラジオを利用することもできる。レコーダー本体の外形寸法は 190×150×67(mm) で重量は 1.7 kg。SP ボックスの方は 115×105×55(mm) で 550 gr。値段は本体が ¥ 37,420、SP ボックス ¥ 5,600。

(東京都港区高輪局区内)
日本電気 K. K.

ナショナルの新製品 2 種

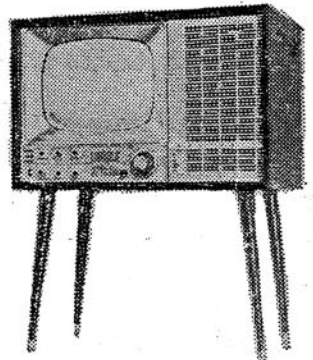
●ステレオ・アンサンプル “HE-63”

本機はアンプ RA-63、プレーヤー 8V-63、スピーカー HS-63 の 3 つが組合わされたものである。アンプ部は 535~1605 kc と 3.8~12 Mc の 2 バンドで、使用真空管は 6BE6×2、16A8×2、6BA6×2、6ZE1、0A79×2、セレンとなっている。電気的出力は 4W-4W、無歪 3W-3W である。外形寸法は幅 500×高さ 175×奥行 370(mm)、重量 7.2 kg である。プレーヤーはリムドライブ式 4 スピードのもので 20 cm ゴムシート付である。PU はステレオ・クリスタル型(ターンオーバー)で、再生周波数は 40~13,000 c/s、外形は幅 336×高さ 138×奥行 274(mm)、重量 2.6 kg である。スピーカーは 2 ウエイ(後面開放型)が 2 組である。使用は 18 cm ウーファと 6 cm トワイターで、再生周波数 60~15,000 c/s、クロスオーバー 3,000 c/s、許容入力 6 W、VC インピーダンス 8 Ω、外形寸法は幅 500×高さ 580×奥行 370(mm)、重量 6.4 kg である。正価は全部で ¥ 58,000。



●ハイファイ・テレビ “F14-R3A”

同社のゴールデン・ゲート管 70J8 を使用して高感度を得ている。真空管はブラウン管とも 17 球、ゲルダイ 3 石、シリコン・バリオード 1 石、シリコンパワー・ダイオード 2 石である。スピーカーは 20 cm ウーファ、10×15 cm スコーカー、6 cm トワイターの 3 本を使用し音声出力は無歪 4 W となっている。自動制御回路は微調の AFT 方式、利得の平均値 AGC、周波数のバース幅 AFC の 3 つがある。消費電力は 145 W。キャビネットは木製で高さ 460×幅 660×奥行 400 脚付全高 800(mm)、重量は 27 kg である。また有線による遠隔操作装置がつけられるし、閃光遠隔操作によるチャンネル切替えのリモコン装置ライト・リモーターも取付けることができる。



(大阪府北河内郡門真町)
松下電器・ラジオ事業部